

システム監査技術者 講評

【総評】

昨年（令和5年）にシステム監査基準やシステム管理基準、財務報告に係る内部統制基準類がそれぞれ改訂され、システム監査技術者（以下、AU）試験においては今回が新基準に基づく初回の試験でした。そのため、今回はどれくらい新基準の内容が色濃く出ることが注目されましたが、特に午前Ⅱ試験で新基準に基づく出題が目立ちました。午後の試験では、ITサービスやシステム運用面が多く取り扱われた印象です。具体的には、午後Ⅰ試験では問1でDevOpsやCI/CD（継続的インテグレーション／継続的デリバリー）が、問3でITサービスの利用申請を行うシステムが取り上げられ、午後Ⅱ試験では問2で「外部サービスを活用した運用プロセスの監査」が取り上げられました。また、午後Ⅱ問1では、コントロールの監査ではなくガバナンスの監査が初めて出題されたのが特徴的でした。新基準を意識した出題といえます。

【午前Ⅱ】

前は旧基準下での最後の試験だったこともあり、基準類からの出題は少なかったのですが、今回は新基準下の試験ということで、新たなシステム監査基準から3問、財務報告に係る内部統制基準類から4問出題されました。システム監査分野の出題が全部で10問ですから、そのうちの7割が新基準からの出題ということになり、AU試験ではこれらの基準類が拠り所になっていることが窺えます。なお、新システム管理基準や、昨年にシステム監査基準・システム管理基準から枝分かれして民間団体から新たに出新されたシステム監査基準ガイドライン・システム管理基準ガイドラインからの出題はありませんでした。

法務分野では職務著作、ホイッスルブローイング、インボイス制度などが取り上げられ、今の世の中においてタイムリーで重要度の高いテーマが出題されました。

今回は過去問題を少し書き換えた問題や過去問題と同テーマの類似問題の出題が目立ちました。前記の新基準に関する出題にも、過去問題の焼き直しがいくつか見られました。見慣れた問題が多く、過去問演習を行っていれば得点しやすい試験だったといえます。

【午後Ⅰ】

総評にも挙げたとおり、今回はITサービスやシステム運用面が多く取り扱われていました。問1ではDevOps、CI/CD、ビルド、デプロイ、などの用語が登場しましたが、問題文にそれらを説明する部分は少なく、ある程度の知識がないと正解を導くのは難しかったかもしれません。そして問3がITサービスの利用申請を管理するシステムの導入に関する監査です。利用申請処理と利用料の見積りに関して内部監査を行う事例で、監査チームリーダーと内部監査室長との会話中の空欄を埋める形式でした。問2は、監査実施後の監査報告書の作成に焦点が当てられた、珍しいテーマの問題でした。監査調書に基づいて作成した監査報告書案のレビュー結果に基づいて、不十分な点や改善提案の修正内容などが問われています。

問題文は3問とも4ページにまとめられており、分量は少なめです。小問数（解答すべき項目の数）は6つずつで例年どおりです。計算問題は1問もなく、全て文章題でした。

<午後Ⅰ問題テーマ>

- 問1 DevOps を適用したシステム開発・運用の監査
- 問2 システム監査報告書の作成
- 問3 IT サービス管理システムの監査

【午後Ⅱ】

新システム監査基準によると、システム監査は、IT システムのガバナンス、マネジメント、コントロールを検証・評価する作業です。そして、新システム管理基準は、IT ガバナンス編と IT マネジメント編で構成されており、それぞれの枠組みが記されています。今回の問1はこれらの新基準を反映して「IT 投資のガバナンス」が取り上げられました。AU の午後Ⅱ試験では「リスク→コントロール→監査手続」の流れで問われるのが定番ですが、問1はその形式ではなく、設問イと設問ウの両方で監査の着眼点と入手すべき監査証拠が問われました。ガバナンスの監査は経営視点が求められます。今回も IT 投資のガバナンスというかなり上位層のテーマであり、論述しづらかったのではないかと思います。類似テーマの過去問題には、平成28年の「問1 情報システム投資の管理に関する監査について」があります。問2は外部サービスを利用した運用プロセスが取り上げられており、運用業務の外部委託におけるリスクと対応策（コントロール）、監査手続が問われました。設問ウでコントロールの整備状況と運用状況を確認する監査手続を述べることとなりますが、設問イで述べた対応策に対する監査手続ではなく、対応策に漏れがないかどうかや委託元における対応策のモニタリング状況をみるための監査手続が問われていることに注意が必要です。

どちらも、あらかじめ論述全体の設計を行ってから書き始めることが重要になる問題でした。なお、今回から問題冊子のレイアウトが変わり、見開きで左ページに問題、右ページにメモ用紙が配置され、受験者の利便性が高まりました。

<午後Ⅱ問題テーマ>

- 問1 IT 投資のガバナンスに関する監査について
- 問2 情報システムの外部サービスを活用した運用プロセスの監査について

以上